力士カルテ	7月場所過去の成績 '21	'22	'23	過去1年間の番付毎の力士と勝敗 7月	9月	11月	1月	3月	5月	2024 1月	2024 3月	2024 5月	幕内 年間出場勝率 通算出場勝率（下段は勝敗）体場は省く	優勝 三賞 金星	年齢 身長 体重	部屋 出身 大学	東 外国 大学	（よみがな） 力士名	番付 No	番付
春巡業と申し合い稽古に参加も新たに左脇腹を痛め土俵での稽古は回避。夏場所は強行出場し、2場所連続の黒星発進。2日目「左肋骨損傷、右変形性膝関節症のため3週間の安静加療を要する見込み」と診断書を提出。休場は、2場所連続通算21度目、横綱在位17場所で10度目。	大関 14−1	横綱 11−4	横綱 1−3・11休	照ノ富士 1−3 11休	照ノ富士 0−0 15休	照ノ富士 0−0 15休	照ノ富士 13−2 優勝	照ノ富士 2−5 8休	照ノ富士 0−2 13休	横綱 13−2 優勝 ★	横綱 2−5−8	横綱 0−2−13	57.1% 16−12 63.7% 352−201	9回 9回 0回	32歳 192cm 176kg	伊勢濱 モンゴル	外	てるのふじ 照ノ富士	1	横綱
春巡業で大関同士の三番稽古に精力的。夏場所の番付発表に合わせ、53代横綱である祖父のしこ名「琴櫻」を襲名。大関2場所目で挑んだ場所。精機的に前へ出れず黒星スタート。2日目から4連勝、6日目に黒星も、連敗せず11勝で準優勝。4場所連続10勝以上と安定感が光るも、平幕への取りこぼしが課題。	前11 12−3 敢闘	前2 7−4・4休	小結 11−4 敢闘	貴景勝 0−0 15休	霧島 9−6	貴景勝 9−6	霧島 11−4	霧島 5−10	豊昇龍 10−5	関脇 13−2 技能 ★	大関 10−5 ★	大関 11−4 ★	72.2% 65−25 60.4% 209−137	0回 6回 0回	26歳 189cm 175kg	佐渡嶽 千葉	ことざくら	琴 櫻	3	大関
■補欠補充順■ この番付の番付順に補充されます	横綱大関 関脇以下	①『 補欠O点指定力士 』 ②次の順に未使用力士が代入『 西大関「 貴景勝 」、西大関「 豊昇龍 」、東大関「 琴櫻 」、東横綱「 照ノ富士 」』																		
一昨年の九州場所幕内優勝経験者。2年振りの関脇復帰で挑んだ場所。黒星スタートも2日目に大関を破ってから3連勝。7日目から2連勝し、5勝3敗で折り返す。後半は元気がよく、10日目から5連勝し、三役で初の二桁勝利。大関取りの起点を作る。	十14 11−4	小結 8−7	小結 6−9	豊昇龍 12−3 優敢	大栄翔 10−5	大栄翔 9−6	琴ノ若 13−2 技能	大栄翔 6−9	若元春 4−8 3休	前2 8−7 ★	小結 9−6 ★★	関脇 10−5 ★★	53.3% 48−42 55.7% 246−196	1回 5回 3回	30歳 187cm 165kg	錣山 埼玉	あび	阿 炎	11	関脇
春巡業で前半休場。2度目のカド番で挑んだ場所。黒星スタートし、2日目に白星を挙げるも消極的な取り口で精彩がなく、相撲がバラバラで3日目からドロ沼の4連敗。7日目「頸椎症性神経根症」と診断書を提出。休場は5度目。6場所在位した大関から陥落。名古屋場所での10勝が大関復帰の目安。	前6 9−6	前筆 8−7	大関 6−7・2休		琴ノ若 9−6	琴ノ若 11−4 敢闘				大関 11−4 ★	大関 5−10 ★	大関 1−6−8	56.3% 45−35 56.3% 213−165	2回 4回 0回	28歳 186cm 148kg	音羽山 モンゴル	外 きりしま	霧 島	13	関脇
春巡業で充実した稽古を積む、足運びがよく、手が伸び、得意の突き、押しに圧力があり、初日に大関を破ってから2連勝。4日目にも大関を破ってから4連勝。中日から連敗するも、その後連敗せず2場所振りの勝ち越し。11勝を挙げ三役復帰。	前筆 5−10	関脇 6−7・2休	関脇 9−6	琴ノ若 11−4 敢闘	錦木 5−10	阿炎 6−9	高安 2−4 9休	阿炎 9−6	朝乃山 0−0 15休	関脇 9−6	関脇 6−9 ★	前1 11−4 ★★	60.0% 54−36 52.9% 388−345	1回 7回 4回	30歳 182cm 165kg	追手風 埼玉	だいえいしょう	大栄翔	15	小結
伊勢神宮で始まる春巡業を左足かかとのできもの手術のため休場。立ち合いの当たりが戻り、白星スタート。2日目黒星も、その後連敗せず、中日を5勝3敗で折り返す。9日目から2連勝し、12日目に2場所振りの勝ち越し。終盤2連勝し、2021年春場所以来19場所振りの二桁勝利。	小結 8−7	前10 9−6	前3 8−7	錦木 10−5 殊勲	北勝富士 8−7	朝乃山 4−4 7休	若元春 10−5 殊勲	宇良 6−9	熱海富士 7−8	前9 9−6	前2 6−9 ☆	前5 10−5	48.9% 44−46 49.0% 239−249	0回 2回 2回	28歳 180cm 156kg	立浪 鹿児島	めいせい	明 生	17	前1
幕内優勝3回経験者。幕内通算51場所目で挑んだ場所。粘り腰で初日から5連勝。中日に左腿を痛めるも、2連勝し勝ち越しにあと一歩。10日目黒星も、11日目に一気の攻めで2場所連続の勝ち越し。終盤4連敗で8勝止まり。大関昇進時は脚光を浴び、長野県出身では江戸時代の伝説的な強豪、雷電以来227年振りと話題となるも、わずか4場所でその地位を明け渡す。	関脇 8−7	大関 2−5・8休	前2 3−12	正代 6−9	阿炎 9−6	正代 6−9	翠富士 5−10	豪ノ山 5−10	平戸海 9−6	前9 6−9	前10 9−6	前7 8−7	47.8% 43−47 55.3% 416−336	3回 10回 2回	31歳 180cm 167kg	出羽海 長野 東洋大	大 みたけうみ	御嶽海	19	前2
関脇経験者で、幕内通算29場所目で挑んだ場所。右膝にテーピングをしての出場。休場が万全ではなく初日から4連敗。5日目からも2連勝するも、7日目から2連敗し、2勝6敗で折り返す。9日目から3連勝し挽回するも、12日目に7敗目。終盤、後がなくなってから3連勝し千秋楽に勝ち越し。	前2 8−7	前筆 1−6・8休	前9 8−7	翠富士 4−11	正代 8−7	高安 10−5	豪ノ山 5−10	玉鷲 7−8	高安 7−3 5休	前12 10−5	前3 5−10 ☆ ★	前8 8−7	48.8% 42−44 51.1% 216−207	0回 3回 2回	29歳 184cm 170kg	常盤山 千葉	たかのしょう	隆の勝	21	前3
幕内通算15場所目、2場所連続関脇で挑んだ場所。初日黒星スタートし、6日目で3勝3敗の星も、7日目「右第1足趾MP関節靭帯損傷」と診断書を提出。休場は4度目。11日目から、痛む右足にテーピングをして再出場も負け越し。平幕からの出直しとなる、通算700回出場、400勝を達成。	十3 7−8	前4 6−9	関脇 9−6	朝乃山 8−4 3休	隆の勝 6−9	豪ノ山 8−7	翔猿 7−8	翔猿 8−7	玉鷲 6−9	前1 10−5 殊勲 ☆ ★	関脇 9−6 ★★	関脇 4−8−3	54.0% 47−40 58.6% 130−92	0回 2回 1回	30歳 187cm 143kg	荒汐 福島	わかもとはる	若元春	23	前4
右膝の大怪我で幕内上位から西序二段106枚目まで落ちるも、不屈の闘志で再起し今年の初場所で新小結に。体が大きくなり押す力がつき、自身初の6連勝スタートで単独トップに。7日目から連日の大関戦で8連敗し、3場所連続の負け越し。6月22日に32歳を迎える。	前13 10−5	前3 7−8	前4 7−8	平戸海 5−10	豪ノ山 9−6	阿武咲 3−12	竜電 3−12	翠富士 7−8	阿武咲 7−8	小結 6−9	前1 6−9 ★★★	前4 7−8	47.8% 43−47 50.5% 160−157	0回 1回 2回	32歳 175cm 142kg	木瀬 大阪 関西大	大 うら	宇 良	25	前5
幕内通算6場所目で、自己最高位の西前頭2枚目で挑んだ場所。立ち合いの当たりが強く、踏み込んで休まず一気の攻めで初日に大関を破る。3日目から3連敗、7日目から2連敗と失速し、12日目からの2連敗で負け越し。四つに組まれると分が悪い。4月末に結婚し、新生活をスタート。	下52 5−2	十14 8−7	前13 10−5 敢闘	北青鵬 5−10	阿武咲 9−6	湘南乃海 7−8	金峰山 7−8	剣翔 2−3 10休	尊富士 0−0 15休	前3 5−10 ★	前6 10−5 ★★★	前2 6−9 ★	53.3% 48−42 53.3% 48−42	0回 1回 0回	26歳 178cm 160kg	武隈 大阪 中央大	大 ごうのやま	豪ノ山	27	前6
幕内通算23場所目で挑んだ場所。白星スタートも、2日目から2連敗、5日目からも2連敗するも、7日目から2連勝し五分の星で折り返す。9日目から4連敗し、終盤投回出来ず負け越し。28歳で新入幕を果たし30歳で新三役昇進。最高位は東小結。30代になってからは幕内上位に定着。	前3 4−11	前6 8−5・2休	前筆 9−6	高安 7−8	高安 10−5	北青鵬 7−8	一山本 5−10	金峰山 6−7 2休	錦木 5−10	前4 7−8 ★	前4 8−7 ★★	前3 6−9	47.8% 43−47 49.0% 168−175	0回 2回 2回	32歳 173cm 136kg	追手風 東京 日本大	大 とびざる	翔 猿	29	前7
長身ながら立ち合い頭を下げ、長い腕を活かし、得意の左四つの型で3連勝スタート。4日目黒星も5日目から2連勝。7日目から2連敗で中日を5勝3敗で折り返す。中盤足踏みも、両国しを引いての取り口で、終盤3連勝し10勝を挙げ、昨年の九州場所以来3場所振りの勝ち越し。	十9 0−0・15休	十1 12−3 十優	前15 10−5	佐田の海 5−10	琴恵光 6−9	遠藤 5−10	北青鵬 2−4 9休	阿武咲 9−6	陸の勝 8−7	前5 3−12	前13 6−9	前14 10−5	50.0% 45−45 48.2% 217−233	0回 2回 0回	33歳 189cm 155kg	高田川 山梨	りゅうでん	竜 電	31	前8
幕内通算8場所目で挑んだ場所。首の状態に不安があるも、初日から3連勝、4日目から2連敗と中日を5勝3敗で折り返す。12日目から2連勝で3場所振りの勝ち越し。場所中に何度も首の状態を気にしていた。突き、押しを得意とし、四つや投げなど多彩な技もある。6月24日に27歳を迎える。	入門前 0−0	下1 6−1	前10 7−8	陸の勝 8−7	翠富士 10−5	妙義龍 6−9	御嶽海 6−9	北勝富士 6−9	玉鷲 7−8	前6 7−8	前7 6−7−2 ★	前10 8−7	51.1% 45−43 50.8% 60−58	0回 1回 0回	27歳 195cm 176kg	木瀬 カザフスタン 日本大	外 大 きんぼうざん	金峰山	33	前9
幕内通算88場所目で挑んだ場所。春場所痛めた右膝も回復し白星スタート。4日目から立ち合いに迷いが見られ6連敗。10日目から得意の押し相撲で5連勝。勝ち越しがかかるも、千秋楽に敗れ2場所連続の負け越し。通算出場1613回は現役1位、歴代9位の記録。	前10 11−4	前3 5−8・2休	前7 8−7	金峰山 7−8	金峰山 9−6	竜電 10−5	玉鷲 8−7	正代 8−7	湘南乃海 9−6	前10 8−7	前7 7−8	前9 7−8	45.6% 41−49 47.9% 631−687	2回 4回 7回	39歳 189cm 176kg	片男波 モンゴル	外 たまわし	玉 鷲	35	前10
幕内通算4場所目で挑んだ場所。黒星スタートも、得意の左前廻しを掴んで力を発揮し2日目から3連勝、6日目から2連勝し中日を5勝3敗で折り返す。9日目から2連勝し、勝ち越しがかかるも、その後2連敗。13日目に新入幕以来3場所振りの勝ち越しも、14日目の土俵で左脇腹を痛め2連敗し、8勝止まり。	下3 5−2	十9 9−6	十7 8−7	琴恵光 8−7	御嶽海 9−6	佐田の海 8−7	剣翔 9−6	一山本 7−8	佐田の海 9−6	前13 7−8	前13 7−8	前13 8−7	51.7% 31−29 51.7% 31−29	0回 0回 0回	31歳 176cm 143kg	木瀬 沖縄 日本大	大 ちゅらのうみ	美ノ海	37	前11
小結経験者で、幕内通算37場所目で挑んだ場所。前に詰め攻めるも黒星スタート。3日目から4連敗し、中日を3勝5敗で折り返す。9日目から4連敗し、2場所連続の負け越し。常に腰が高く、力強さが見られない場所。得意は押し、左四つ、寄り、体格を活かしたつり出し。昨年の名古屋場所では、二桁勝利も殊勲賞を受賞。	十10 7−8	前8 8−5・2休	前筆 10−5 殊勲	千代翔馬 6−9	宝富士 7−8	玉鷲 8−7	陸の勝 10−5	湘南乃海 9−6	一山本 8−7	前5 8−7	小結 3−12 ☆	前7 5−10	42.2% 38−52 45.4% 251−302	0回 1回 2回	33歳 186cm 183kg	伊勢海 岩手	にしきぎ	錦 木	39	前12
約12年振りに十両へ陥落も、1場所で幕内復帰で挑んだ場所。自己最多タイの5連勝スタート。中日を1敗で折り返すのは幕内で4度目。10日目に幕内第1号の勝ち越し。三役や好調力士との対戦で3連敗も、9勝を挙げる。	前8 8−7	前12 9−6	前15 9−6	豪ノ山 10−5 敢闘	妙義龍 10−5	宝富士 6−9	美ノ海 7−8	竜電 6−9	水戸龍 2−9 4休	前16 6−9	十1 8−7	前16 9−6	49.3% 37−38 46.8% 513−582	0回 1回 3回	37歳 186cm 169kg	伊勢濱 青森 近畿大	大 たからふじ	宝富士	41	前13
幕内優勝経験者で、一時は大関候補にもなる。昨年の春場所で右膝を痛め、同年4月に手術。番付を幕下まで下げるも、春場所で十両に復帰し、幕内復帰を目指した場所。低い攻めで初日から2連勝スタート。3日目黒星も、4日目から12連勝し、14勝を挙げ初の十両優勝。6場所振りの幕内復帰。	小結 5−10	関脇 8−7	前12 0−0・15休	大翔鵬 6−9	碧山 5−10	友風 7−8	琴ノ若 9−6	錦富士 8−7	竜電 10−5	下1 7−0 下優	十10 9−6	十6 14−1 十優	79.5% 35−9 59.8% 146−98	1回 4回 0回	29歳 182cm 135kg	荒汐 福島 東洋大	大 わかたかかけ	若隆景	43	前14
幕内通算35場所経験者。昨年末3回目の腰の手術を受け、怪我に苦しみ番付を下げ、十両4場所目で挑んだ場所。黒星スタートも、6日目から6連勝。中日に黒星も、9日目から3連勝し勝ち越し。終盤3連勝で自己最高12勝を挙げ、8年振りの二桁勝利で幕内復帰。	前7 8−7	前13 7−8	前12 6−9	竜電 10−5	熱海富士 11−4 敢闘	東白龍 5−10	友風 5−10	妙義龍 6−9	時疾風 6−9	十5 7−8	十6 9−6	十3 12−3	42.2% 38−52 45.1% 230−280	0回 0回 0回	32歳 184cm 134kg	九重 モンゴル	外 ちよしょうま	千代翔馬	45	前15
幕内通算3場所経験者で、東十両2枚目で挑んだ場所。3連勝スタート。4日目から2連敗も、中日を5勝で白星先行。後半連敗が続くも、終盤3連勝し、2場所連続の勝ち越し。9勝を挙げ3場所振りの返り入幕。得意は押しの一本。器用ではないが、着実に力が付いている。	前8 8−7	前6 8−7	前16 3−12	遠藤 10−5	輝 5−10	輝 5−10	獅雅 5−10	宝富士 6−9	遠藤 5−10	前16 4−11	十5 9−6	十2 9−6	26.7% 12−33 26.7% 12−33	0回 0回 0回	28歳 171cm 178kg	藤島 茨城	ぶしょうざん	武将山	47	前16
幕内通算11場所目で挑んだ場所。右足首の状態は万全ではなく、白星スタートも、その後5連敗。7日目から2連勝も、11日目から3連敗し負け越し。12日目の取組で左手薬指が相手の廻しにひっかかり脱臼。足の怪我の回復が課題。	十11 8−7	前17 10−5 敢闘	前8 5−10	碧山 9−6	大翔鵬 3−12	北の若 5−10	島津海 9−6	尊富士 13−2 優勝	剣翔 3−12	十2 10−5	前14 8−7	前12 5−10	38.7% 29−46 45.5% 75−90	0回 1回 0回	27歳 184cm 151kg	伊勢濱 青森	にしきふじ	錦富士	49	前17

番付 No	（よみがな） 力士名	西 大 外国	部屋 出身 大学	年齢 身長 体重	優勝 三賞 金星	幕内 年間出場勝率 通算出場勝率（下段は勝敗）体場は省く	2024 1月	2024 3月	2024 5月	過去1年間の番付毎の力士と勝敗 7月	9月	11月	1月	3月	5月	7月場所過去の成績 '21	'22	'23	力士カルテ
4	ほうしょうりゅう 豊昇龍	外	立浪 モンゴル	25歳 188cm 142kg	1回 3回 0回	68.5% 61−28 60.2% 206−136	大関 10−4−1	大関 11−4	大関 10−5	霧島 6−7 2休	貴景勝 11−4 優勝	豊昇龍 13−2 優勝	豊昇龍 10−4 1休	琴ノ若 11−4	琴桜 11−4	新入幕	なし		優勝は(優勝+殊勲)、優取は(優勝+敢闘)、優技は(優勝+技能)を表します。 ☆は横綱戦、★は大関戦勝ち星を表します。(不戦勝は除く)
6	たかけいしょう 貴景勝		常盤山 兵庫	27歳 175cm 165kg	4回 7回 3回	60.0% 30−20 62.8% 348−206	大関 2−2−11	大関 8−6−1 ★	大関 0−2−13		豊昇龍 8−7	貴景勝 10−5	琴ノ若 2−2 11休	霧島 10−5	阿炎 1−6 8休	返入幕	若隆景、遠藤、千代翔馬、輝、武将		
12	おおのさと 大の里	大	二所関 石川 日体大	24歳 192cm 181kg	1回 5回 0回	75.6% 34−11 75.6% 34−11	前15 11−4 敢闘	前5 11−4 敢技 ★	小結 12−3 優秀技 ☆ ★★	大栄翔 9−6	若元春 9−6	若元春 6−9	大栄翔 9−6	若元春 9−6	阿炎 10−5	入門前 0−0	入門前 0−0	下3 4−3	昨年夏場所の初土俵から7場所目で、新三役で挑んだ場所。初日、前に速く攻める取り口で2度目の横綱戦に初勝利。3日目から2大関を破って6連勝し、12勝を挙げ1957年夏場所の安念山以来2人目となる新小結優勝。初の殊勲賞と2度目の技能賞も獲得。
16	ひらどうみ 平戸海		境川 長崎	24歳 178cm 138kg	0回 0回 0回	51.1% 46−44 52.7% 87−78	前8 8−7	前4 9−6 ★	前2 9−6 ★	大栄翔 9−6	翔猿 9−6	北勝富士 5−10	宇良 6−9	錦木 3−12	大の里 12−3 優特技	下4 4−3	十8 10−5	前5 5−10	幕内通算11場所目、自己最高位の東前頭2枚目で挑んだ場所。初日、立ち合いから一気の出足で大関を破るも2日目から4連敗。中日を3勝5敗で折り返す。11日目から5連勝するも、12日目から4場所連続の勝ち越し。名古屋場所で新三役昇進。速攻相撲が魅力。
18	あたみふじ 熱海富士		伊勢濱 静岡	21歳 186cm 183kg	0回 2回 0回	57.3% 43−32 52.2% 47−43	前1 6−9	前2 8−7 ★★	前1 7−8 ★★	翔猿 9−6	明生 7−8	熱海富士 8−7	宇良 6−9	朝乃山 9−6	大栄翔 11−4	下55 6−1	十6 8−7	十1 11−4 十優	幕内通算6場所目、自己最高位の東前頭筆頭で新三役を狙った場所。初日に大関を破り白星スタート。3日目にも大関を破るも、4日目から5連敗。11日目から3連勝して勝ち越すも、千秋楽に敗れ負け越し。静岡県勢として94年ぶり、戦後では初となる三役昇進に一歩届かず。
20	しょうなんのうみ 湘南乃海		高田川 神奈川	26歳 194cm 190kg	0回 1回 0回	51.1% 46−44 51.1% 46−44	前6 4−11	前12 9−6	前10 9−6	御嶽海 3−12	朝乃山 9−6	阿炎 4−11	明生 8−7	豪ノ山 6−9	豪ノ山 6−9	下14 4−3	下15 6−1	前14 10−5 敢闘	幕内通算6場所目で挑んだ場所。大きな体を活かし、下半身は安定し、どっしりとした取り口で初日から4連勝。幕内で自己最速の10日目に勝ち越し、9勝2敗の単独トップも、終盤4連敗し9勝止まり。2014年春場所で初土俵。2016年九州場所で幕下昇進も足踏み、2023年名古屋場所で新入幕。
22	たかやす 高 安		田子浦 茨城	34歳 188cm 181kg	0回 12回 5回	61.8% 47−29 56.6% 573−439	小結 2−4−9	前8 11−4	前3 7−3−5 ★★	明生 8−7	玉鷲 2−13	翔猿 7−8	北勝富士 4−5 6休	隆の勝 5−10	翔猿 6−9	関脇 7−6・2休	前4 0−0・15休	前7 7−8	大関1５場所経験者。締め込みの色を紺に新調し心機一転で挑んだ場所。初日から2連勝と好スタートも、3日目「急性腰痛症」「右腿部に疼痛が出現」で通算16度目の休場。9日目から再出場し、大関の球ねり連勝も、13日目から2連敗し負け越し。幕内1000回出場を達成。
24	ことしょうほう 琴勝峰		佐渡嶽 千葉	24歳 191cm 162kg	0回 1回 0回	49.3% 37−38 46.7% 119−136	前14 9−6	前9 8−7	前8 8−7	宇良 7−8	宇良 9−6	錦木 7−8	正代 4−11	平戸海 9−6	宇良 7−8	+5 5−10	前11 5−6・4休	前13 7−8	幕内通算18場所目で挑んだ場所。3連敗スタートも、休の動きがよく、立ち合いの踏み込みの足を左から右に変え7連勝。11日目は黒星も、12日目に幕内復帰3場所連続の勝ち越し。13日目から消極的な取り口で3連敗し、8勝止まり。押し相撲、四つ相撲のどちらでも相撲が取れる万能型力士。
26	おうのしょう 阿武咲		阿武松 青森	28歳 177cm 165kg	0回 4回 2回	48.9% 44−46 51.2% 297−283	前14 10−5	前8 9−6	前5 7−8	阿武咲 6−9	湘南乃海 7−8	翠富士 9−6	錦木 8−7	大の里 11−4 敢技	明生 10−5	前6 7−8	前15 10−5	前5 6−9	幕内通算41場所目で挑んだ場所。調整は順調も黒星スタート。中日敗れ4勝4敗と五分の星で折り返すも、中日から4連敗し後がなくなる。13日目に敗れ負け越し。3場所連続の勝ち越しはならず。土俵際での逆転負けが目立った場所。7月4日に28歳を迎える。
28	さだのうみ 佐田の海		境川 熊本	37歳 182cm 144kg	0回 2回 1回	48.9% 44−46 47.4% 367−408	前10 6−9	前11 8−7	前11 9−6	王鵬 6−9	竜電 6−9	陸の勝 5−6 4休	湘南乃海 4−11	豪ノ山 10−5	翠富士 5−10	+8 9−6	前5 7−8	前8 5−10	幕内通算52場所目で挑んだ場所。2連敗スタートも、3日目から立ち合いの踏み込みを左から右に変え3連勝。6日目に左足首を傷め2連敗。11日目から、立ち合いからの一気の攻めで4連勝し、2場所連続の勝ち越し。常に膝が曲がり、腰を下ろしての取り口が魅力。通算700勝を達成。
30	おうほう 王 鵬		大嶽 東京	24歳 191cm 176kg	0回 0回 1回	46.7% 42−48 48.6% 102−108	前11 10−5	前3 7−8 ☆	前4 6−9 ★★	玉鷲 8−7	玉鷲 5−10	錦木 8−7	朝乃山 9−3 3休	玉鷲 7−8	御嶽海 8−7	+12 10−5	前15 8−7	前6 6−9	大横綱大鵬の孫。幕内通算14場所目で挑んだ場所。初日から4連敗と厳しいスタート、5日目に白星を挙げ、さらに2大関を破り3連勝、中日黒星で3勝5敗で折り返す。10日目から4連敗し、2場所連続の負け越し。幕内通算100勝を達成。
32	おうしょうま 欧勝馬	大 外	鳴戸 モンゴル 日体大	27歳 190cm 158kg	0回 1回 0回	66.7% 10−5 66.7% 10−5	+5 8−7	+4 11−4	前14 10−5 敢闘	錦富士 5−10	平戸海 6−9	平戸海 11−4 敢闘	高安 7−8	琴勝峰 8−7	入門前 0−0	+13 5−3・7休	+4 7−8	新入幕で挑んだ場所。下からの攻め、粘り強さを見せ3連勝スタート。7日目から連敗するも、9日目から4連勝し、11日目に勝ち越し。千秋楽に10勝を挙げ、自身初の敢闘賞を獲得。元学生横綱。2021年九州場所に幕下15枚目格付出デビュー。十両を約2年で通過。鳴戸部屋からの幕内力士は、現師匠「元大関琴欧洲」になって初。
34	いちやまもと 一山本	大	放駒 北海道 中央大	30歳 188cm 150kg	0回 1回 0回	51.7% 31−29 46.1% 101−118	前7 5−10	前11 7−8	前12 8−7	北勝富士 12−3 敢闘	伯桜鵬 0−0 15休	御嶽海 8−7	琴恵光 9−6	明生 9−6	琴勝峰 8−7	正代 7−8	前17 8−7	前13 6−3・6休	+3 4−9・2休	幕内通算15場所目で挑んだ場所。黒星スタートも、長いリーチを活かしスピードのある鋭い突き押しで4日目から2連勝。前半白星先行。6日目、9日目から2連敗するも、11日目から幕内初の不戦勝もあり3連勝、千秋楽に白星を挙げ、3場所振りの勝ち越し。幕内通算100勝を達成。
36	しょうだい 正 代	大	時津風 熊本 東農大	32歳 184cm 169kg	1回 7回 2回	43.3% 39−51 51.4% 380−360	前4 4−11 ☆	前10 8−7	前9 7−8	妙義龍 6−9	遠藤 9−6	琴恵光 2−8 5休	佐田の海 6−9	御嶽海 9−6	金峰山 8−7	大関 8−7	大関 10−5	前2 6−9	大関1３場所経験者で、幕内通算50場所目で挑んだ場所。黒星スタート。白星と黒星を繰り返し、中日を3勝5敗で折り返す。10日目からこの場所初の2連勝も、12日目から2連敗し負け越し。大関陥落後9場所で、勝ち越しは3回。
38	みどりふじ 翠富士	大	伊勢濱 静岡 近畿大	27歳 174cm 117kg	0回 1回 0回	44.4% 40−50 48.9% 110−115	前2 5−10 ★	前5 7−8 ★★	前6 5−10	剣翔 5−10	北勝富士 10−5	平戸海 9−6	王鵬 10−5	佐田の海 8−7	北勝富士 7−8	+9 6−9	前11 10−5	前3 4−11	幕内通算16場所目で挑んだ場所。常に下からの攻めで白星スタート。前に圧力をかけるも白星につながらず、4日目から4連敗。中日を得意の肩透かしで白星を挙げ3勝5敗で折り返す。11日目白星で挽回するも、12日目から4連敗し、3場所連続の負け越し。通算500回出場を達成。
40	ほくとふじ 北勝富士	大	八角 埼玉 日体大	31歳 184cm 161kg	0回 3回 7回	50.0% 42−42 51.8% 339−316	前3 4−5−6	前9 6−9	前11 7−8	若隆景 0−0 15休	佐田の海 8−7	玉鷲 9−6	妙義龍 5−10	島津海 0−4 11休	錦富士 5−10	前3 8−7	前7 6−9	前9 12−3 敢闘	三役経験者で、幕内通算45場所目で挑んだ場所。白星スタートも、2日目から3連敗。5日目から休がよく動き4連勝するも、9日目から3連敗。12日目白星で6勝6敗と五分に。腰が引けて13日目から2連敗し、4場所連続の負け越し。通算400勝を達成。
42	あさのやま 朝乃山	大	高砂 富山 近畿大	30歳 189cm 169kg	1回 6回 1回	62.9% 39−23 61.5% 241−151	前7 9−3−3	前1 9−6 ★★	小結 0−0−15	琴勝峰 7−8	錦富士 5−10	剣翔 9−6	遠藤 5−10	美ノ海 7−8	美ノ海 8−7	大関 0−0・15休	三役 7−0 三優	前4 8−4・3休	大関7場所経験者で、幕内通算32場所目。2021年秋場所以来約3年振りの三役復帰。三重県伊勢神宮で始まる春巡業に参加も、千葉県木更津市で行われた巡業で右膝を痛め「右膝内側側副靭帯損傷」と診断、膝の怪我は自身初で、回復出来ず初日から休場。休場は、2場所振り12度目。
44	えんどう 遠 藤	大	追手風 石川 日本大	33歳 184cm 149kg	0回 6回 7回	41.5% 34−48 49.7% 433−439	前13 5−10	前16 5−10	十3 12−3	湘南乃海 10−5 敢闘	琴勝峰 5−10	一山本 11−4 敢闘	陸の勝 10−5	北の若 5−10	欧勝馬 10−5 敢闘	前筆 1−4・10休	前5 3−10・2休	前16 10−5	2013年春場所に幕下10枚目格付け出しで初土俵。昭和以降では最速の所要3場所での新入幕。2016年春場所以来8年振りに十両で挑んだ場所。三役経験者が久々に元気で、落ち着いて前によく攻め、足運びもよく、初日から自身初の10連勝。終盤星を落とすも、12勝を挙げ、11場所で幕内復帰。
46	かがやき 輝		高田川 石川	30歳 193cm 171kg	0回 0回 0回	44.0% 33−42 45.2% 271−329	+7 9−6	+4 7−8	+5 11−4	宝富士 9−6	美ノ海 3−12	大の里 11−4 敢闘	獅雅 7−8	獅雅 7−8		前12 7−8	+3 7−8	+1 9−6	幕内通算40場所経験者。幕内陥落後4場所目で挑んだ場所。前によく攻め3連勝スタート。4日目から2連敗も、6日目から4連勝。11日目に勝ち越し、終盤3連勝で自己最高タイの11勝を挙げ、5場所振りの幕内復帰。関取として二桁勝利は4年以上振り。6月1日に30歳を迎えた。
48	ろうが 狼 雅	外	二子山 ロシア	25歳 184cm 152kg	0回 0回 0回	42.2% 19−26 42.2% 19−26	+3 9−6	前15 7−8	前15 7−8	武将山 3−12	剣翔 8−7	錦富士 6−9	武将山 4−11	大竜美 7−8	宝富士 9−6	下10 4−3	下2 4−3	+2 8−7	幕内通算3場所目で、幕内初の勝ち越しを目指した場所。春巡業で痛めた左足ふくらはぎにテーピングをしての出場。左前廻しを掴んで力を発揮し初日白星も、その後2連敗。調子が上がらず中盤4連敗。12日目から2連勝で挽回するも、14日目敗れ、2場所連続の負け越し。

7月場所予想番付

（年齢は、初日前日までの年齢）

大相撲星取クイズはこの”予想番付”に従って行います。日本相撲協会による本番付は、7月1日(月)に発表されます。

翌場所の予告

■ ２０２４年９月（秋）場所 ■ 開催場所：両国国技館 ■

◇ 初日：９月８日 ～ 千秋楽：９月２２日 ◇

◆ 星取クイズ締め切り：９月６日（金） ◆